



FRI Business Incubation News

2006年2月14日

「情報大航海時代」研究会開始(経産省)

ITによる「情報大航海時代」の情報利用を考える研究会

経産省商務情報政策局の主管による研究会が発足しました。FRIは事務局として全体的な支援を実施し、同時に、佐々木取締役が委員として参加しています。

研究会の狙い

インターネット上にはテキスト、画像などに加え、音楽や映像など多種多様、かつ、膨大な情報が流れて始めている。情報爆発とも言えるこうした時代に、個人が適確、かつ、安心して情報を活用するためには知的情報アクセスツールが重要である。わが国の技術を集結して研究開発を行い、優位性を保って国際競争力につなげていくとともに、安心・安全な情報経済社会の創造をめざす。

構成

親研究会

座長 喜連川優 東京大学生産技術研究所教授

委員 棚倉由行 富士通経営執行役常務

委員 佐々木一人 富士通総研取締役

他

第1分科会

「次世代知的情報アクセスに関するビジョンと技術を考える分科会」

座長 佐藤真一 国立情報学研究所教授

委員 長田茂美 富士通研究所ナレッジ研究センター長代理

他

第2分科会

「知的情報アクセスがもたらす文化・社会・経済的影響を考える分科会」

座長 宮田加久子 明治学院大学社会学部教授

委員 佐々木一人 富士通総研取締役

他

問い合わせ先 (株)富士通総研 S&Cコンサルティング事業部

Tel:03-5401-8393 担当:佐々木、大塚

解説

検索エンジンの確保

インターネット上の検索エンジンは、Google、Yahoo、MSNの寡占状態にあります。情報がテキスト・静止画像から動画へ急速に拡大し、また、情報家電への広がりを展望すると、国内技術を結集して国際競争力を高める時期に来ています。国家レベルでは安全保障確保が狙いであり、ビジネスレベルではITと家電の融合がマーケットと考えられます。

富士通グループのビジネス展開は

CRMなどの顧客DB、RF-ID、レセプトなどによる在庫情報、医療情報などではローカルな検索エンジンが極めて重要な役割を担っています。瞬索などの技術をベースとした高性能エンジンは、戦略策定、戦術実施においても、大きな期待が寄せられています。

「通信・放送の在り方に関する懇談会」と何が違う

世の中の流れは通信と放送が融合する方向にあります。総務省主管のこの懇談会は、融合時代における通信・放送の各業界の在り方、とりわけ、公共放送(NHK)と民間放送の在り方に焦点を当てた放送側からのアプローチになっています。